

24
25

 U-NEXT

 Premier
League



REPORT

サッカー試合解説レポート

MATCH

U-NEXT プレミアリーグ 【14】 1205_ニューカッスルVSリヴァプール

DATE

2024/12/05

NAME

田中裕介

Diagram illustrating a football match setup for Newcastle United (ニューカッスル) versus Liverpool (リヴァプール).

Newcastle United (ニューカッスル) Formation: 4-3-3

- Goalkeeper:** N. Pope (22)
- Defenders:** V. Livramento (21), F. Schuster (5), D. Burn (33), L. Hall (20)
- Midfielders:** S. Tonneri (8), B. Guimarães (39), Joe Elliott (7), J. Murphy (23), A. Isaac (14), A. Gordon (10)
- Forwards:** D. Nnennies (9), C. Gakpo (18), C. Jones (17), M. Salter (11), A. Alistair (10), R. Graefenbergh (38), A. Robertson (26), V. van Dijk (4), J. Gomez (2), J. Quansah (78), C. Keane (62)

Liverpool (リヴァプール) Formation: 4-2-3-1

The diagram shows the positions of players on the field, with numbers indicating their jersey numbers. The Newcastle United players are represented by blue circles, and the Liverpool players are represented by red circles. The formation for Newcastle United is 4-3-3, and for Liverpool, it is 4-2-3-1.

プレミアリーグ・今日		試合終了	
	3	-	3
ニューカッスル			リヴァプール
アレクサンデル・イサク 35'	⓪		カーティス・ジョーンズ 50'
アンソニー・ゴードン 62'			モハメド・サラヘ 68', 83'
ファビアン・シェア 90'			
	チーム別データ		
17	シュート		16
6	枠内シュート		5
41%	ボール支配率		59%
348	パス		511
79%	パス成功率		87%
9	ファウル		17
2	イエローカード		5
0	レッドカード		0
4	オフサイド		0
5	コーナーキック		6

MATCH REPORT

SCORE 3-3 (1st 1-0 2nd 2-3)

TOP3 point

- ・ 4-3-3、4-5-1の整理が見事だったニューカッスル
- ・ 後半右サイドに現れた赤い『発射台』と『ミサイル』
- ・ ハイインテンシティが生んだ極上のスリリングな90分

Challenges to the Next

- ・ キーマンを塞がれた時のビルドアップの打開策提示
- ・ シュートシーンでの細かな言語化
- ・ ゴールシーンで守備側目線での守り方言及

【ニューカッスル】

システムは4-3-3。

前半開始早々から相手陣地へ圧力をかけて高い位置でのボール奪取を図る。

ボール奪取から素早い攻撃という本来のチームのあるべき姿を迷いなく遂行するという決意を感じる立ち上がりだった。

その任務を行う上で重要な中盤のギマランイス、トナーリ、ジョエリントンの強度は非常に高く、相手ビルドアップのキーマンであるフラーフェンベルフとマクアリスターに対しては時間を与えない守備を行っていた。

攻撃では奪ったボールを多少アバウトでも前線のイサクに送り込む事で相手守備陣形の乱れを狙い続けた。右サイドに入ったマーフィーや左サイドのゴードンはアクディブトランジションのスピードが速く、奪ってから素早い攻撃で何度か決定機も迎えていた（2点目のゴードン含む）。

得点はギマランイス-イサクのホットラインから生まれたものが2点。セットプレーから1点。得点力不足が課題のチームに希望が持てる試合になった。

守備では高い位置での4-3-3のプレスと自陣リトリート時の4-5-1の使い分けも非常に良かった。それだけに後半の自分達のミスからの2失点が痛かった。次節はボールの失い方に気をつけたい。個人的なMOMはギマランイス。

圧巻のプレッシングからイサクへの配球も的確で正確だった。

両チームで生まれた6ゴールの中からのMIG(Most Impressive Goal)はイサクの弾丸シュート。

【リヴァプール】

システムは4-2-3-1。

過密日程の中で中のできるターンオーバーを採用。

右サイドバックには若手のクアンサーを起用した。立ち上がりからビルドアップには苦戦する。キーマンのフラーフェンベルフとマクアリスターがタイトにマークされ効果的な配給がなかなかできない。その中でもカンタープレスやセットプレーのこぼれからマクアリスターが高い技術から決定機。

チームの生命線であるトランジションの強度はキープできていた。

相手の圧力に押された前半から一転して後半は本来の姿を出していく。

相手のパスミスから一気にサラヘ。サラヘからの折り返しを

カーティス・ジョーンズがダイレクトでフィニッシュ。質の高さを感じる

同点弾だった。その後失点するがソボスライ、アーノルド、ディアスの投入で

一気に攻勢に転じる。特に右サイドに入ったアーノルドはサラヘの良さを引き出す無駄のなさを発揮。強力な『発射台』と『ミサイル』が右サイドに設置された。

2点目を奪われた後のリバウンドメンタリティは見事。相手DFを自陣ゴール前に釘付けにしながら奪った3点目は凄みを感じるものだった。

最後にニューカッスルにセットプレーで追いつかれるも、難敵を相手に

AWAYで奪った勝ち点1は引き分けても強しの印象をつけるには申し分のない試合内容だった。

個人的なMOMはサラヘ。もはやわかっているけど止められない決定力は説明不要。